シリコンウエーハ各社の2014年決算（連結ベース）

1) 当部会メンバー各社の2014年連結シリコン売上高合計は、7,172億円となり、前年比14%増と2連続の売上増となり、3年ぶりに7,000億円台に回復した。

2) 設備投資は、各社共に依然大規模な能力増強投資は実施しておらず、高品質化の投資が主体であり、2014年は、前年比15%増、売上高比5.4%の389億円になった。

研究開発費は、先端デバイスの微細化に対応した高精度ウエーハ、省電力デバイス向けウエーハや次世代ウエーハの開発などを継続しているが、2014年は、前年比6%減、売上高比3.5%の249億円になった。

また、設備投資と研究開発費の合計は、前年比6%増、売上高比8.9%の638億円になった。

3) 営業利益は、リーマンショックの影響を受けた2009年を除くと、2011年を底に徐々に増加し、2014年は前年比45%増、売上高比6.9%の494億円となった。しかしながら、2005年～2008年の水準には遠く及ばない状況である。

終わりに

当部会では、昨年加盟一社にて発生した事故の重大性を真摯に受け止め、安全操業確保の諸施策を実施し、新金属協会の災害防止安全委員会の主要メンバーとして、安全管理体制の強化に継続的に取り組んでいる。

日本のシリコン業界は、一昨年来の円安の恩恵を受けてはいるものの、世界的に割高な電力料金及び電力需給問題や、電子機器の低価格化、ファブレス・ファウンドリー市場の更なる拡大や内外デバイスメーカーの事業再編に伴う需要構造変化といった市場環境の中にある。

加盟各社は、生産性向上や合理化などによるたゆまぬコスト低減を進めると共に、最先端デバイスなどの要求に対応した高精度ウエーハなどの品質向上も図り、安定供給にも努めなければならないと考えている。

将来のスマート社会の実現にも貢献するため、シリコン業界の安定的成長と安定的収益確保に向け、昨年来の再成長を継続し更なる成長に向けて努力して参る所存です。

<今後のシリコン業界の課題>

- ① 安全管理強化への取り組みと安全操業の確保
- ② シリコン需要構造変化と高精度要求への対応
 - 1) 最先端デバイスへの品質対応
 - 2) たゆまぬコスト低減
 - 3) 電力料金値上げへの対応と電力安定供給の確保
- ③ 安定的成長を実現する収益確保とスマート社会化への対応

半導体産業の中長期的な発展のため、各社それぞれの経営課題としての対応はもとより、原材料メーカーや半導体メーカーとの関係強化により課題解決に努めて参る所存であり、半導体産業

ひいては我国ハイテク産業全般に対して、必要不可欠な材料を担う当シリコン業界の健全な発展のために、引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げる次第である。